

算数科（3年）シラバス

☆ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

☆ 第3学年の到達目標

加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにします。

図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにします。

資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにします。

☆ 学習の予定（全150時間）

月	学習すること
4	たし算とひき算 (3けたのたし算、ひき算)
5	かけ算(かけ算のきまり)
6	かけ算のひっ算(2けた×1けた・3けた×1けた) 時間と時こく
7	表とグラフ(表とぼうグラフ)
9	長さ(はかり方、km) かさ(ℓ、dℓ、ml)
10	わりざん
11	形(長方形、正方形、直角三角形) 大きな数(万の位・10倍、100倍の数)
12	あまりのあるわり算
1	2けたのかけ算(2けた×2けた)
2	重さ(g、kg)
3	箱の形 3年のまとめ

☆ 評価について

算数科では、次の4つの観点で評価します。

① 算数への関心・意欲・態度

「知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。」

→授業での様子、提出物、発表、ワークシート等

② 数学的な考え方

「算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。」

→単元テスト(数学的な考え方)、授業ノート、発表等

③ 数量や図形についての表現・処理

「整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量関係などを表したり調べたりする。」

→単元テスト(表現・処理)、小テスト等

④ 数量や図形についての知識・理解

「量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解する。」

→単元テスト(知識・理解)等